

<外食・中食 調査レポート>

外食・中食市場 2016 年計の動向 単価の上昇に支えられた 2015 年 から一転、客単価はゼロ成長

2017 年 3 月 17 日

エヌピーディー・ジャパン株式会社

<外食・中食 調査レポート>

外食・中食市場 2016 年計の動向

単価の上昇に支えられた 2015 年から一転、客単価はゼロ成長

外食・中食市場情報サービス『CREST®^{*1}』を提供するエヌピーディー・ジャパン株式会社（所在地：東京都港区、代表取締役：トーマス・リンチ）は、この度、外食・中食市場 2016 年計動向の分析を紹介します。また、今回紹介する外食・中食市場の動向分析レポートを販売いたします。

消費者の節約志向が根強く、個人消費が伸び悩んだ 2016 年。そのような 2016 年の外食・中食市場はどのような状況だったのかを総括して、エヌピーディー・ジャパン株式会社が提供する外食・中食市場情報サービス『CREST®マーケットトレンドレポート^{*2}2016 年計編』から分析を紹介します。

外食・中食市場全体の売上は 0.5%増

外食・中食市場全体の 2016 年計の売上市場規模は、20 兆 1983 億円でした。成長率（図表 1）をみると、売上は対前年比 0.5%増となりました。内訳は、食機会数^{*3}の増加（+0.6%）が寄与したものです。2015 年の対 2014 年比は、売上 1.7%増、食機会数 0.4%減、客単価 2.2%増でした。2015 年は、客単価が年間を通して客単価が増加しており、この客単価増が売上の成長を支えていましたが、2016 年は一転して客単価はマイナス成長となりました。

消費者の節約志向によって、高単価店から低単価店へのシフト、または高単価商品から低単価商品へのシフトが起こることにより、企業側も積極的な値上げや高単価商品戦略を避けたことが影響したと考えられます。

<図表1> 外食・中食市場 成長率

2016年計vs. 2015年計 %



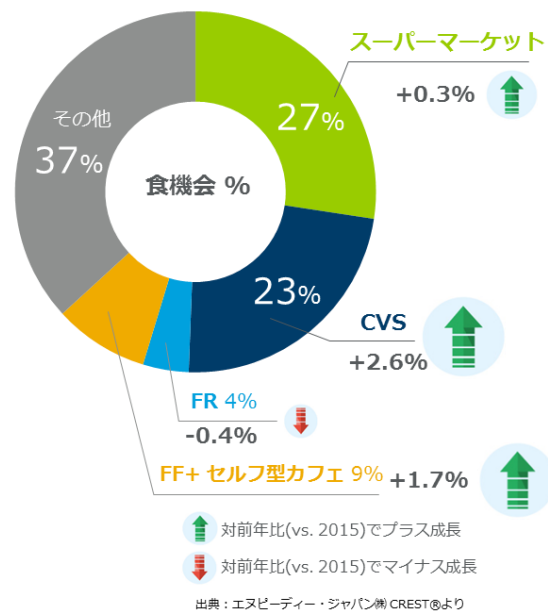
出典：エヌピーディー・ジャパン(株) CREST®より

多くの業態で食機会数がプラス成長

業態別の食機会数の成長率（図表 2）をみると、CVS（コンビニエンスストア）と FF（ファストフード）+セルフ型カフェが大きく成長しました。CVS は店舗数増加（前年比+2.8%）の影響が大きいと考えられます。FF+セルフ型カフェは、ハンバーガーファストフードの鶏肉問題からのリカバーが大きく影響しました。

FR（ファミリーレストラン）は 2015 年に高単価商品が好調で客単価も伸び客数も伸びましたが、2016 年は節約志向の影響で苦戦しました。第 4 四半期（9-12 月）に再度高単価商品の投入や、メニュー戦略がうまくいき、客数が回復したことで、2016 年計は微減（0.4%減）にとどまりました。

<図表2> 業態シェア(2016年計)と食機会数成長率

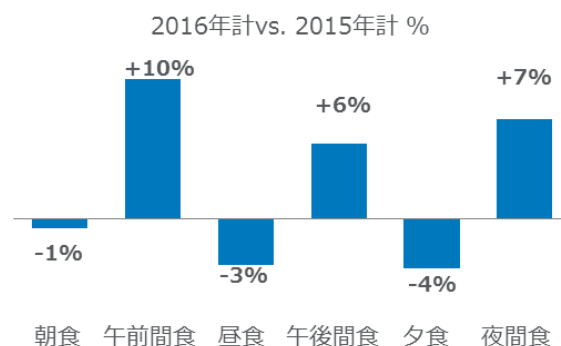


昼食、夕食は減少、間食機会が 4 四半期連続で伸びる

食機会別の成長率（図表 3）をみると、間食機会が大きく成長しているのが分かります。2015 年はマイナス成長だった間食機会が 2016 年は年間通してプラス成長でした。間食の伸びは主に CVS とスーパーがけん引しています。

反面、昼食、夕食のメインの食事機会数は、大きく減少しています。朝食は第 3 四半期までは連続減でしたが、第 4 四半期にプラスに転じたことでマイナス 1%と小幅減にとどまりました。

<図表3> 食機会別 食機会数成長率



出典：エヌピーディー・ジャパン株式会社 CREST®より

2016 年は、天候不順や野菜・魚介類の歴史的な高騰もあり、もともと顕著になっていた節約志向がより強くなり、消費者は価格や商品の価値に対してシビアな状態が続きましたが、第 4 四半期に多くの業態で客数が増え、明るい兆しが見え始めました。

人口減少、少子高齢化が進む中、今後は人々の胃袋は減る一方ですので、何もしなければ食市場は縮小します。外食・中食市場は、プラスマイナス 1%前後の成長しか見込めず、天候やカレンダー並びの影響を受けて数字が上下する現象が続いています。節約志向の消費者の財布のひもをいかにゆるめるかが重要になりますが、2016 年に伸長した間食や、連休やイベントの需要を喚起し取り込んでいくことが今後の消費拡大のカギになりそうです。

本分析の詳細をもっと知りたい方へ

「外食・中食マーケットトレンドレポート 2016 年計編」リリース

本分析を含めた外食・中食市場全体及び主要業態（FF+セルフ型カフェ、FR、居酒屋、CVS、スーパー）の 2016 年計の動向について分析・解説するレポートを販売します。

詳細・申込は、以下よりお問い合わせください。

<https://www.npdjapan.com/contact-us/>

マーケットトレンドレポートの詳細は以下の URL でご覧いただけます。

<http://www.npdjapan.com/solutions/food/markettrendreport/>

***1. CREST®**

外食・中食市場において「いつ、誰が、どこで、何を、どのように食べ、どの程度満足したか」など消費者のあらゆる喫食動態データを、1年365日、直接消費者から収集し、年間13万を超えるサンプル数を元に調査分析できる情報サービスです。

(海外各国版もご用意)

詳細 URL: <http://www.npdjapan.com/service/food.html>

***2. CREST®マーケットトレンドレポート**

日本の外食・中食市場全体及び主要業態（FF+セルフ型カフェ、FR、居酒屋、CVS、スーパー）について、基本指標を四半期ごとにトラッキングし、その変化を捉えるための定型レポート。業態別の伸び及びその変化がどのセグメントで生じているのかを四半期ごとに捉えることで、経営戦略策定やマーケティング活動の基礎資料としてお役に立ていただけます。レポート（PDF形式）を年4回発刊します。

***3. 食機会数**

外食・中食を利用した延べ食機会（朝/午前間食/昼/午後間食/夕/夜間食）数

■ 本件に関するお問い合わせ先

エヌピーディー・ジャパン株式会社

担当：東（あずま） さやか

〒108-0074 東京都港区高輪 3-23-17 品川センタービル 8F

TEL : 03-5798-7663

FAX : 03-5798-7665

Email : npdjapan.info@npd.com